

調剤学

[講義] 第2学年～第3学年 後期 選択 1単位

《担当者名》櫻田 渉(薬学部)
平野 剛(薬学部) 早坂 敬明(薬学部) 高村 茂生(薬学部) 藤崎 博子(薬学部)
山本 隆弘(薬学部) 奥田 衣理(薬学部) 坂東 拓哉(薬学部) 佐々木弘好(特別講師)

【概要】

近年、医療の高度化、多様化に伴い医療における薬剤師の役割が大きく変化し、薬剤師業務も多様化してきている。しかし、調剤業務(正確な調剤)が薬剤師業務の根幹であることは何ら変わらない。本講義では、処方箋に基づいた調剤業務を安全で適切に遂行出来るようになるために、基本的な薬学的管理、調剤業務の基礎を修得する。
災害時に薬剤師が医療の担い手の一員として、特殊状況下(被災地、被災者)に必要とされる医療、薬学の専門的知識、技術の必要性を理解する。さらに、災害医療現場で、薬剤師がどのような職能を発揮するか、さらには、口腔ケアの必要性、現場での多職種連携についても学ぶ。

【学修目標】

医療チームの一員として調剤を正確に実施できるようになるために、処方箋授受から服薬指導までの流れに関連する基本的知識、技能、態度を修得する。

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部(研究科)、学環、学校の授業実施方針による

【ディプロマポリシー(学位授与方針)との関連】

DP3. データサイエンティストとして、社会の変化に関心を持ち、人々の新たなニーズに創造的に対応できるように生涯にわたり自己研鑽する姿勢を身につけている。

DP5. 複雑化する医療・保健・看護・福祉・心理の現場での医療専門職とのコミュニケーションを通して多職種で協働し、データサイエンティストとしての専門性を発揮する姿勢を身につけている。

【実務経験】

平野 剛(薬剤師)、櫻田 渉(薬剤師)、早坂敬明(薬剤師)、高村茂生(薬剤師)、藤崎博子(薬剤師)、
山本隆弘(薬剤師・保健師・看護師)、奥田衣理(薬剤師)、坂東拓哉(薬剤師)、佐々木弘好(薬剤師)

【実務経験を活かした教育内容】

教科担当の9名は、病院・薬局の実務経験者である。臨床における病院業務、薬局業務の経験を活かし、具体的な実務薬学について講義をする。